

2021年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
36407A	クラフトデザイン Craft Design	金子 ひとみ		専門	1	選択	1.2年後期

科目の概要

フラワー・生地・紙という自分の身近にある素材を利用し、様々な技法を使って作品を制作していく中で、暮らしを豊かにするデザインとはどんなものかを学ぶ。
自分のオリジナルデザインを考えることによって、個別化・想像力・アイデア力を養う。
自分の作品が出来上がった喜びと愛着が湧くことによって、ものを大切にする心を養う。
最後は完成した自分の作品をスタイリングし、SNSを利用して自分ブランドの発信の仕方を学ぶ

学修内容	到達目標
① 様々な素材をそれに適した技法で美しく表現する方法を学ぶ ② 与えられた材料で、オリジナルな作品作りが出来るようになることを目標とする ③ 決められた時間の中で作品を創造し、よりよい作品作りのために積極的に授業に参加する ④ グループワークで人と協力して作品や課題を完成させることを目指す ⑤ 作品を通しての自分表現方法を学ぶ	① 様々な素材をそれに適した技法で美しく表現できる ② 与えられた材料で、オリジナルな作品作りが出来るようになる ③ 決められた時間の中で作品を創造し、よりよい作品作りのために積極的に授業に参加することができる ④ グループワークで人と協力して作品や課題を完成させることができる ⑤ 作品を通しての自分表現方法を習得する

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
前に踏み出す力	主体性	作品制作アイデアについて、インターネット等を使い事前に自己学修することができる
	働きかけ力	
	実行力	作品の提出期限までに仕上げるための手順や方法を考え、目標に向かって進めることができる
考え抜く力	課題発見力	与えられた作品制作について、自分なりの課題を客観的に見つけることができる
	計画力	締切の期日を守り、制作することができる。時間配分ができる
	創造力	デザインを考えるときに、1つの方向からでなく、多方面からのアプローチができる
チームで働く力	発信力	SNSという媒体を上手く使いこなし、不特定多数に対して訴求力のある発信ができる
	傾聴力	講師の求めることを察知し、それに見合った作品を作ることができる
	柔軟性	人の作品を見て、自分と価値観の違いがあっても、受け入れることができる
	状況把握力	今は何をすべき状況なのか見極め、それに見合った行動ができる
	規律性	無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト：なし。プリントを適宜配布する
教材費約6,500円
参考文献：なし

他科目との関連、資格との関連

なし

学修上の助言	受講生とのルール
デザインを考えることが多いので、あらかじめインターネット・本等を参考に見ておくこと	教材を持ち帰る場合は、必ず次の授業で持ってくる。道具を借りた場合は、必ず返却すること。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①				
				②				
				③				
				④				
				⑤				
	平常評価	小テスト	0	①				
				②				
				③				
				④				
				⑤				
		レポート	10	①				指定された記事を読み、気づきをA4用紙1枚以上にパソコン打ちでまとめる 1回実施10点満点 実施時期テーマは授業中に指示をする
				②				
				③	✓			
				④				
				⑤	✓			
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	80	①	✓			作品の完成度で評価する。特に高く、表現にも工夫がみられる：80点 完成度は高く、表現にも工夫がみられる：60点 完成してはいるが、表現に工夫と努力が必要である：40点 何点かの作品のトータル点数の平均点で評価する 未提出は0点
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
				⑤	✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			主体性：作品制作について、事前に予習したり、どんな作品を制作するのかイメージすることができる。 実行力：自分が決めた目標に向かって、行動することができる。 課題発見力：自分の学修上の問題について、積極的に考え解決することができる。 計画力：制作過程において、適切な時間配分ができる。 創造力：多角的な物事の見方ができ、それを作品に反映することができる。 発信力：ビジュアルだけでなく、文章や口頭で作品の魅力を伝えることができる。 傾聴力：講師のアドバイスをよく聴いて、作品を作り上げることができる。 柔軟性：失敗しても次の打開策を考えることができる。 状況把握力：周りをよく見て、現状と自分の課題を読み取ることができる。 規律性：遅刻、無断欠席など学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。欠席した場合は欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。	
			②	✓				
			③	✓				
			④	✓				
			⑤	✓				
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
(S) 【作品制作】すべての作品の完成度が高く、表現に工夫が見られ、他の生徒の見本となるような作品であること。作品制作・レポート両方とも主旨に沿ったものを提示できていること。【社会人基礎力】提出期限を守ることができ、授業中も制作や講義内容について意欲的に発言ができる。他の人の手本になるような作品作りに率先して取り組むことができ、できない人をサポートすることが出来る。 総合評価の点数が90点以上 (A) 【作品制作】8割の作品の完成度が高く、表現に工夫が見られるものであること。作品制作・レポート両方とも主旨に沿ったものを提示できていること。【社会人基礎力】提出期限を守ることができ、制作や講義内容について理解できている。他の人の手本になるような作品作りに率先して取り組むことができる。 総合評価の点数が80点以上	(B) 【作品制作】5割の作品の完成度が高く、表現に工夫が見られるものであること。作品制作・レポートどちらかが主旨に沿ったものを提示できていること。【社会人基礎力】提出期限を守ることができ、制作や講義内容について理解できている。他の人と協力して制作に取り組むことができる。 総合評価の点数が70点以上 (C) 【作品制作】全ての課題を提出できていること。【社会人基礎力】提出期限を守ることができ、授業中も制作や講義内容について理解できている。他の人と協力して制作に取り組むことができる。 総合評価の点数が60点以上

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1	オリエンテーション ・授業の目的、概要、 進め方 参考作品を見せなが ら、制作スケジュール の説明	講義 制作内容とスケジュー ル・持ち物説明	授業についてのまと め、持ち物の準備がで きる	(予習と復習) オリエンテーションで 説明した内容を理解し て、実習に必要な用具 を準備する	90	主体性 計画力 傾聴力 状況把握力 規律性
2	様々なフラワーで作品 制作① アーティフィシャルフ ラワーでコサージュ制 作①	講義・演習 教員が制作過程を説明 後、各自が制作。確認 後、作品はフィード バックし講評する	制作工程を把握し、ワ イヤリング・テーピン グがスムーズにできる	(予習) 制作動画を視 聴して、制作手順につ いて把握する (復習) ワイヤリン グ・テーピングが完成 していない学生は自宅 で制作	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 状況把握力 規律性
3	様々なフラワーで作品 制作① アーティフィシャルフ ラワーでコサージュ制 作②	講義・演習 教員が制作過程を説明 後、各自が制作。確認 後、作品はフィード バックし講評する	作品が完成している	(予習) 制作動画を視 聴して、制作手順につ いて把握する (復習) コサージュが 完成していない学生は 自宅で制作	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 状況把握力 規律性
4	様々なフラワーで作品 制作② ドライフラワーでアロ マワックスサシェ制作 ワックスの特性やアロ マの効用について学ぶ	講義・演習 教員が制作過程を説明 後、各自が制作。確認 後、作品はフィード バックし講評する	作品が完成している	(予習) アロマワック ス制作動画を視聴して くる (復習) 作品が完成し ていない学生は自宅で 制作	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 状況把握力 規律性
5	様々なフラワーで作品 制作③ ドライフラワーでハー バリウム作成①	講義・演習 教員が制作過程を説明 後、各自が制作。確認 後、作品はフィード バックし講評する	作品が完成している	(予習) ハーバリウム 制作動画を視聴してく る (復習) 作品が完成し ていない学生は自宅で 制作	90	主体性 課題発見力 創造力 傾聴力 柔軟性 規律性
6	様々なフラワーで作品 制作③ ドライフラワーでハー バリウム作成②	講義・演習 教員が制作過程を説明 後、各自が制作。確認 後、作品はフィード バックし講評する	作品が完成している	(予習) ハーバリウム 制作動画を視聴してく る (復習) 作品が完成し ていない学生は自宅で 制作	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
7	フランス伝統工芸・カル トナージュについて 学ぶ① カルトナージュの歴史 カルトナージュの基本 道具を覚える ICカードケース作り①	講義・演習 教員が制作過程を説明 後、各自が制作。確認 後、作品はフィード バックし講評する	製図、カルトンカット までが終了している	(予習) 指定された道 具を揃えておく、制作 動画を視聴し、工程に ついて把握する (復習) カルトンカッ トまで達していない学 生は自宅で制作	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
8	フランスの伝統工芸・カ ルトナージュについ て学ぶ② ICカードケース作り②	講義・演習 教員が制作過程を説明 後、各自が制作。確認 後、作品はフィード バックし講評する	作品が完成している	(予習) 制作動画を視 聴し、工程について把 握する (復習) ICカードケー スが完成していない場 合は自宅で制作	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 柔軟性 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
9	フランスの伝統工芸・カルトナージュについて学ぶ③ ペン立て制作①	講義・演習 教員が制作過程を説明後、各自が制作。確認後、作品はフィードバックし講評する	製図、カルトンカットまでが終了している	【予習】指定された道具を揃えておく、制作動画を視聴し、工程について把握する (復習) カルトンカットまで達していない学生は自宅で制作	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 傾聴力 状況把握力 規律性
10	フランスの伝統工芸・カルトナージュについて学ぶ④ ペン立て制作②	講義・演習 教員が制作過程を説明後、各自が制作。確認後、作品はフィードバックし講評する	作品が完成している	【予習】指定された道具を揃えておく、制作動画を視聴し、工程について把握する (復習) ペン立てが完成していない学生は自宅で制作	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 傾聴力 状況把握力 規律性
11	フランスの伝統工芸・カルトナージュについて学ぶ⑤ 自由制作① デザイン 考案・製図	講義・演習 教員が制作過程を説明後、各自が制作。確認後、作品はフィードバックし講評する	製図、カルトンカットまでが終了している	【予習】指定された道具を揃えておく、制作動画を視聴し、工程について把握する (復習) カルトンカットまで達していない学生は自宅で制作	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
12	フランスの伝統工芸・カルトナージュについて学ぶ⑥ 自由制作② 組み立て、生地貼り、装飾	講義・演習 教員が制作過程を説明後、各自が制作。確認後、作品はフィードバックし講評する	作品が完成している	【予習】指定された道具を揃えておく、制作動画を視聴し、工程について把握する (復習) 作品が完成していない学生は自宅で制作	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
13	フランスの伝統工芸・カルトナージュについて学ぶ⑦ マスクケース制作①基本の形	講義・演習 教員が制作過程を説明後、各自が制作。確認後、作品はフィードバックし講評する	作品が完成している	【予習】指定された道具を揃えておく、制作動画を視聴し、工程について把握する (復習) 作品が完成していない学生は自宅で制作	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
14	フランスの伝統工芸・カルトナージュについて学ぶ⑧ マスクケース制作②バリエーション	講義・演習 教員が制作過程を説明後、各自が制作。確認後、作品はフィードバックし講評する	作品が完成している	【予習】指定された道具を揃えておく、制作動画を視聴し、工程について把握する (復習) 作品が完成していない学生は自宅で制作	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
15	フォトスタイリング 自分で制作した作品を美しく写真に収める技術や理論を学ぶ	講義・演習 教員が制作過程を説明後、各自が制作。確認後、作品はフィードバックし講評する	自分でフォトスタイリング写真を提出。事前に指定したテーマについて、レポートを提出	(予習) 自分の作品をどのような構図で撮ったら、引き立つか考えてくる。 (復習) 自分の作品をフォトスタイリングし、様々な角度、バリエーションから撮れるようにする。	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

2021年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
36407B	クラフトデザイン (水越 球巳) Craft Design	水越 球巳		共通	1	選択	2

科目の概要

羊毛フェルトを使った作品を制作するために重要なことは、フェルトの歴史や伝説を学んで理解することと、羊毛の特色である「繊維が絡み合う」という性質を実習を通して学修することである。
羊毛フェルトは様々な可能性を持っている素材である。特徴や種類を知り、また道具や材料の使用方法を学び、目標とする専門的知識・技術を身につけて活用することで、独自の発想や表現力を持った個性ある作品の制作を行っていく。

学修内容	到達目標
① フェルトの歴史と伝説について学び、作品制作を豊かなものにする。 ② 羊毛の繊維が絡み合う原理（フェルト化の原理）を学び、実習を通して理解する。 ③ 羊毛フェルトの手法、特徴、種類について学び、作品制作に応用する。 ④ 道具や材料の使用方法を実習で学び、作品制作に応用する。 ⑤ 羊毛フェルト作品制作においては、道具を丁寧に扱い、収納時には道具に感謝の気持ちを持って収納する。	① フェルトがどのようにしてできたのか、世界の遺跡に残る羊と人間の暮らしの様子から、昔の人の知恵や工夫を学ぶことができる。 ② 羊毛の繊維が絡み合う原理を理解し、フェルト化する感覚をつかみながら、豊かな想像力を持ってオリジナルな作品を制作することができる。 ③ 作品の特徴を出すために、羊毛フェルトの種類の使い分けを学び制作することができる。 ④ 目的に合った道具の使用方法を習得できる。 ⑤ 作品制作に喜びを感じながら、自分らしい作品を制作することができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	苦手とする手法を克服して完成度が高い作品を制作するため、自宅等で復習を兼ねて練習することができる。
	働きかけ力	
	実行力	技術向上のため、目標達成のために自分の納得いくまであきらめない意思を持って制作ができる。
考え抜く力	課題発見力	制作で上手くできなかったところ、苦手な手法の分析をして、他の受講者との意見交換をしながら目標を達成するための解決策を考えることができる。
	計画力	
	創造力	授業で取得した技術と知識、自分のアイデアを組み合わせ、新しいものを取り入れたデザインを考えることができる。
チームで働く力	発信力	目標達成に向けて制作過程で取り組むべき課題を制作記録にまとめることができる。
	傾聴力	・授業の説明を理解し、真摯に共感を持って聞くことができ、重要なことはメモを取る。 ・制作で理解できないことがあった時には質問をする。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

参考文献
 ・手作りフェルト 若井麗華 高橋美恵子 大月書店 1540円
 ・「ハンドメイドフェルト」パーフェクト・テクニック 佐々木伸子 河出書房新社 1500円
 ・羊毛フェルトで作る はじめてのどうぶつ 須佐沙知子 日本ヴォークス社 1200円
 ・フェルト羊毛で作る やっぱかわいいうちのペット 須佐沙知子 朝日新聞出版 1200円
 実習材料費 約3500円

他科目との関連、資格との関連

特になし

学修上の助言	受講生とのルール
・作品のクオリティを高めるため、羊毛を使用した雑貨の色彩や形に関心を持つと良い。 ・毎回の授業ごとで違った技術を習得しながら作品制作を進めていくので、気づいた点を制作記録にとり、復習を行って技術習得に努めること。	・授業内容に応じたプリントを配布する。 ・制作した作品は、制作記録に感想を書き提出する。 ・演習授業などで欠席をしないこと。欠席より課題提出が遅れる場合には速やかに申し出ること。 ・携帯電話の電源を切り、カバンの中に入れておくこと。 ・制作しやすい環境を整えるため、机の上に荷物は置かないこと。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①					
				②					
				③					
				④					
				⑤					
	平常評価	小テスト	0	①					
				②					
				③					
				④					
				⑤					
		レポート	10	①	✓			・当日の授業内容の確認と、制作状況を記録する。 ・疑問、問題点があれば、それに対し何が原因かを分析し、次の作品制作に活かすポイントを記入する。	
				②	✓				
				③	✓				
				④	✓				
				⑤	✓				
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	80	①	✓			①フェルトが生まれた時代背景を理解する。 ②フェルト化の原理を理解するとともに、オリジナルな作品を制作できたか評価する。 ③羊毛フェルトの特徴を作品に活かしているか評価する。 ④道具を適切に使用し、作品の細部にわたり気を遣って制作しているか評価する。 ⑤完成度と表現力が特に高く、工夫も見られる：80点/完成度と表現力が高く、工夫も見られる：70点/完成はしているが、表現方法に努力が必要である：60点	
				②	✓				
				③	✓				
				④	✓				
				⑤	✓				
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			(主体性) 技術取得のため自らが進んで練習することができる。 (実行力) 自分が納得いくまであきらめないで努力をしている姿勢がみられる。 (課題発見力) 苦手な手法があるときには解決策を見つけ出して作品に活かすことができる。 (創造力) 授業で学んでことだけではなく、自分のアイデアを組み合わせながら制作することができる。 (発信力) 制作記録に目標達成までのプロセス・自分の気づきをまとめることができる。 (傾聴力) ・授業での説明を理解し、真摯に共感を持ちながら聞くことができる。 ・質問を積極的にすることができる。		
			②	✓					
			③	✓					
			④	✓					
			⑤	✓					
総合評価割合			100						

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
(A) ・フェルト化の原理及び羊毛フェルトの手法・特徴・原理について理解できている。 ・羊毛を使った作品に求められる特性がうまくとらえられている。 ・フェルト化の感覚を知り、道具を適切に使用して丁寧に仕上げている。 ・オリジナルな作品を制作するための独自のアイデアを複数提案することができる。 ・制作記録が、的確にまとめられている。 ・作品制作に取り組む姿勢に積極性と努力を感じる。 (S)は上記の基準に加えて ・フェルト化の原理及び羊毛フェルトの手法・特徴・種類を正確に理解している。 ・羊毛を使った作品に求められる特性が、非常に上手くとらえられている。 ・道具を適正に使用し、作品の細部にわたり丁寧に仕上げている。 ・独自のアイデアに創意工夫がみられる。 ・制作記録が的確にまとめられ、自己に取り組むべき課題・問題点を記入している。	(B) ・フェルト化の原理及び羊毛フェルトの手法・特徴・種類について理解している。 ・羊毛を使った作品に求められる特性がとらえられている。 ・道具を適切に使用し、作品を完成している。 ・オリジナルな作品を制作するための独自のアイデアを提案することができる。 ・制作記録がまとめられている。 ・作品制作に取り組む姿勢に努力をしている。 (C) ・フェルト化の原理及び羊毛フェルトの手法・特徴・種類についておおむね理解している。 ・作品は完成度が低い。 ・オリジナルな作品の提案が少ない。 ・制作記録がまとめられていなく、的確に書かれていない。 ・作品制作に取り組む姿勢に積極性が見られない。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1	○ガイドンス ・フェルトの歴史と伝説について学修する。 ・フェルト化の原理について学修する。 ・羊毛フェルトの手法・特徴・種類について学修する。 ・道具・素材の取り扱い方について学修する。 ○ボールテクニック1を学修する。	講義と演習 ・制作方法を説明後に実習を行いながらフィードバックする。 ・準備 (ハサミ)	フェルティングニードル (1本針) を使い、基本のボール型を作りながら、フェルト化の原理を理解し形を作ることができる。	(復習) ・なぜフワフワの羊毛が固まるのか、フェルト化の原理を理解するため、手法・特徴を復習しておくこと。 ・制作記録にまとめること。 (予習) 次週制作をする動物 (犬・猫・ハムスターの中から選ぶ) の顔、体の形をネットや本などで調べておくこと。	60	主体性 実行力 課題発見力 創造力
2	○ニードルフェルトの技法で動物を制作する。 ・動物の核になる部分として羊毛をニードル針で固めて骨格を制作する。 ・植毛、植え付けの技法で動物の毛をリアルに表現する。	講義と演習 ・制作方法、作業手順を説明後に実習を行いながらフィードバックする。 ・準備 (ハサミ)	ニードルフェルトの技法で羊毛をフェルト化する (縮み固める) ことができる。	(復習) ・ニードルフェルト化の技法で羊毛が縮む変化を確認しておくこと。 ・制作記録にまとめること。 (予習) ニードルフェルトの技法で、動物の顔を制作するので表情を考える。	60	主体性 実行力 課題発見力 創造力
3	○ニードルフェルトの技法で動物を制作する。 ・植毛、植え付けの技法で動物の毛をリアルに表現する。 ・目・鼻・口をつけ、模様は濃淡をつけながら色をのせる。	講義と演習 ・前回制作途中の作品をフィードバックし完成に向けて実習する。 ・準備 (ハサミ)	・ニードルフェルトの技法で、羊毛をフェルト化する (縮み固める) ことができる。 ・動物の毛をグラデーションや濃淡をつけながら表現することができる。	(復習) ・動物の毛並みをリアルにするための表現法を確認しておくこと。 ・制作記録にまとめること。 (予習) お湯と石鹼で固まる羊毛の特性についてプリントを読んでもらうこと。	60	主体性 実行力 課題発見力 創造力
4	○水フェルトで小物入れを制作する。 ・平面の円の型紙を羊毛で包み込み袋状にする。切口を作り、袋から立体へと変えながら立ち上げていく過程を学修する。 ・羊毛の繊維を型紙に沿って縦方向・横方向に並べる。 ・水フェルト (お湯と石鹼で固める技法) で熱・圧力・振動を与えながら羊毛が絡み合い縮む原理を学修する。	講義と演習 ・前回制作をした動物の作品を講評する。 ・制作方法、作業手順を説明後、実習を行いながらフィードバックする。 ・準備 (ハサミ)	・羊毛を型紙に乗せる時に全体を均一な厚みにすることができる。 ・水フェルトの技法と羊毛が縮む原理を理解しながら形にすることができる。 ・型紙を使い、縫い目の無い袋状に制作することができる。 ・平面から立体的に仕上げるることができる。	(復習) ・ニードルフェルトと水フェルトの手法・特徴の違いを理解すること。 ・5週～7週で制作をするフェルトルームブーツでも水フェルト技法を使うので、羊毛が縮む原理と袋状に制作する方法を復習しておくこと。 ・制作記録にまとめること。 (予習) 次週の授業でも羊毛を型紙にのせる工程をするので、授業で学んだポイントを確認しておくこと。	60	主体性 実行力 課題発見力 創造力
5	○水フェルトでフェルトルームブーツを制作する。 ・羊毛の繊維を型紙に沿って縦方向、横方向に並べる。	講義と演習 ・前回制作をした小物入れをフィードバックし講評する。 制作方法、作業手順を説明後、実習を行いながらフィードバックする。 ・準備 (ハサミ)	羊毛を型紙にのせる時に全体を均一な厚みすることができる。	(復習) 制作記録にまとめること。 (予習) お湯と石鹼で固まる羊毛の特性についてプリントを読んでもらうこと。	60	主体性 実行力 課題発見力 創造力
6	○水フェルトでフェルトルームブーツを制作する。 ・水フェルト (お湯と石鹼で羊毛を固める技法) で熱・圧力・振動を与えながら羊毛が絡み合い縮む原理を学修する。	講義と演習 ・制作方法、作業手順を説明後、実習を行いながらフィードバックする。 ・準備 (ハサミ)	水フェルトの技法で羊毛が縮む原理を理解しながら形にすることができる。 ・羊毛の繊維がきれいに絡まり縮んだ状態になっている。	(復習) 制作記録にまとめること。 (予習) 平面から立体へと立ち上げていく過程を小物入れの手法から理解しておくこと。	60	主体性 実行力 課題発見力 創造力
7	○水フェルトでフェルトルームブーツを制作する。 ・水フェルト (お湯と石鹼で羊毛を固める技法) で熱・圧力・振動を与えながら羊毛が絡み合い縮む原理を学修する。	講義と演習 ・制作方法、作業手順を説明後、実習を行いながらフィードバックする。 ・準備 (ハサミ)	平面からブーツ型へと立ち上げることができる。	(復習) 制作記録にまとめること。	60	

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力